

# 令和3年度第2回庄原市情報教育研修会

- 日 時：令和3年8月20日（金） 14：00～16：35
- 場 所：各学校 オンライン
- 対象者：庄原市内各小・中学校のICT活用推進リーダー22名

## 目 的

- ・学習支援ソフト「eライブラリアドバンス」の機能について理解する。
- ・タブレット端末を実際に活用することを通して、個別最適、対話的、協働的それぞれの学びの場面に応じた活用イメージをもつ。
- ・本市のICT活用の現状及び今後の予定について理解する。

## 説明・質疑応答「eライブラリアドバンスの活用」

ラインズ株式会社 竹澤 沙緒里



### 【説明・質疑応答の概要】

- 本市に以前から導入されているドリル学習用のコンテンツである。今年度から新たにバージョンが更新された。児童生徒の活用場面について、活用実践例をもとに紹介があった。また、指導者の活用方法について、確認テストや課題の出題などを教科別や単元別で取り組むことができることや児童生徒の実態把握の仕方について学んだ。

## 講話「ICT活用の実態及び今後の予定について」

庄原市教育委員会 指導主事 砂走 敏和

### 【講話の概要】

- これまでの本市の実態として、授業中のICTを活用した指導については、まだ十分ではない。とりわけ、児童生徒同士で「共有」「比較」「協働」する場面での指導に難しさがあると捉えている学校が多い。今後は、教科のねらいを達成するための道具として、効果的な活用の実践を行うとともに、「活用シーン」の実践を集めた事例集を作成し、取組の一層の推進を図る。

## 講話・演習「タブレットを活用した授業づくり」

広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 岡下 祥久

### ジャムボードを使って意見交換



各自の意見を付箋に書き込み、集約し、分類(共同編集)

各グループのJamboardの画面を全体で共有



「タブレットを活用した授業づくり」資料より

### 【講話・演習の概要】

- Google Workspaceのクラスルームを用いた演習を行った。基本的なフォームから、共同編集できるアプリを体験しながら、個別最適な学びの場面、対話的な学びの場面、協働的な学びの場面での活用のイメージを広げた。
- ICTの活用が進んできた場合、教師が場面ごとに「使わせる」のではなく、児童生徒が学びの道具として、ICTを「選択する」姿に変わっていくことを目指した授業づくりを行っていく。

### 【参加者から】

- ・組織として、まずは「使ってみる」という意識の共有を図っていききたい。
- ・eライブラリアドバンスは、個々の学習のペースや理解度の把握に活用できるので、全学年で取り組む。
- ・操作してみると、授業のどの場面で活用できるかがイメージしやすいので、まずは、業務の中で使う場面を増やしていきたい。
- ・GIGAスクール構想の背景や理念を伝え「教員が使わせるICT活用」から「子供たちが使うICT活用」に変えていく。